

小松菜の栽培

1年 (T・N)

小松菜の特性

特徴・・・ツケナ類の一種

江戸時代初期にクキタチナを品種改良して栽培され始めた。

秋まき→30～90日 生育適温→20℃～25℃

発芽適温→15℃～35℃ 旬→冬

栄養・・・ビタミンA

皮膚や髪を健康を保つ。視力の低下を防ぐ。

鉄分

血液中の酸素を運ぶ。貧血防止。

カルシウム

骨をつくる。

小松菜の育て方

・種まき

(10月19日)

工程紹介！

- ① ポリポットに鉢底ネットを敷く
- ② ※培養土を600ml入れる
- ③ 中央に深さ1cm程度の穴をあける
- ④ 学番が書かれた札を立てる
- ⑤ 記録写真を撮る
- ⑥ 水やりをした後、保温用ビニル袋をかける



・追肥 (11月30日)

(12月7日)

(12月22日)

(1月4日)

肥料の三要素

である、

チッ素、リン、カリウム

に水をいれた後、土にいれた。



・間引き (11月30日)

小松菜の小さい方の一房を食べました。茎から切り、水で洗いました。



・害鳥対策

ネットを張り、食べることが出来ないようにしました。

※私の予想だと、害鳥から見えないような役割も果たしているんじゃないかなと思います。



小松菜を食べよう！

[調理名]

小松菜のおかかマヨ

[材料]

- ・小松菜 ・料理酒
- ・かつおぶし ・マヨネーズ

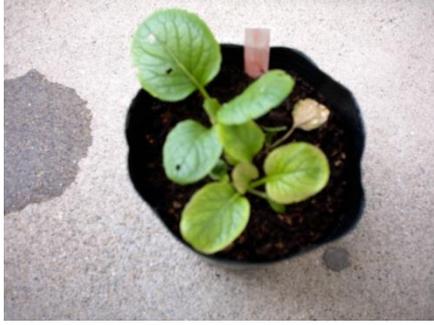


[調理した感想・食べてみた感想]

間引きのときより、酸味がなくなっていて味付けもプラスしたこととてもおいしくできたと思います。

肥料有りと肥料無しと比較

観察日	肥料有り	肥料無し	観察記録
10 月 19 日			<p>種の特徴はまん丸でとても小さい黒い粒だった。赤い粒もたまに見つけた。</p>
10 月 26 日			<p>まだ発芽していなかった。予想では水が足りなかったのだと思うが、はっきりとした原因は分からなかった。</p>
11 月 9 日			<p>発芽していた。一番大きい房で1cm、さわり心地は滑り止めを触っているようだった。ところどころ白っぽい色の葉があったが、だいたい黄緑や深い緑をしていた。</p>
11 月 16 日			<p>一番大きい房で3cmの丈。1週間で2cm伸びた。葉の形はハートの形に似ていた。</p>

観察日	肥料有	肥料無し	観察記録
11 月 30 日			<p>今回は間引きをした。調理していない小松菜を食べるのは初めてだったのでただただ苦いと感じた。小松菜というより只の草を食べている感じがした。思ったより甘くなかった。</p> <p>残った房で一番大きかったのは6cmの房。2週間で3cm伸びた。葉の色も濃くなってきたし、面積も広がってきた。茎が前より太くなっていると思われる。</p>
12 月 7 日			<p>葉の直径(縦)が自分の親指くらいの大きさになった。一番大きい房で8.8cm~9cmくらい。1週間で約3cm伸びた。根元の茎がしっかりしてきた。</p>
12 月 19 日			<p>葉の枚数は小さいもの大きいもの合わせて、12枚。一番大きくて10cmくらい。1週間と5日で1cm伸びた。どんどん寒くなってきて成長が少しくなってきた。</p>

12 月 22 日	冬休み期間 ↓ ↓ ↓		作業内容は 追肥
1 月 4 日	↓ ↓ ↓ ↓		作業内容は 追肥
1 月 11 日			一番大きい房で 15 cm くらい。 去年の最後の授 業でやった時よ り、5 cm 伸び た。葉の直径(縦) は8 cm。葉の枚数 は13枚。
1 月 18 日			収穫日。背丈は少 し大きくなった がさほど変わり はない。収穫量 は多くはないが、 少なくもなく普 通であった。

あなたの収穫量

9.8 g/株

学級の収穫量平均

9.4 g/株

肥料無しの収穫量

4.1 g/株

肥料の効果の考察

①写真を比較しての考察

肥料ありと肥料無しは、最初のころはさほど変わりはなかったと思う。しかし、時間がたつにつれ肥料ありは緑が深く新鮮さを醸し出していった。それに比べ肥料なしの小松菜は、だんだんと穴が開き黄緑色が増えていった。葉も肥料ありに比べ小さく、衰弱していく様子が写真からも見られた。

②収穫量を比較しての考察

まず、自分の収穫量と全体平均の収穫量を見て自分の収穫量はほんの少し多いくらいだったという事が分かった。次に、自分の収穫量と肥料なしの収穫量を比べてみると大幅に違う事が分かった。肥料無しは栄養が足りないから、どんどん弱っていく→枯れて食べれなくなっていく部分が増えていく。ということから、肥料無しは自分の収穫量より大幅に少ない理由となる。

◎分かったこと・まとめ

- ・肥料ありはぐんぐん成長し食用に向く
- ・肥料無しは栄養が足りず弱っていく→枯れて食べられなくなる
- ・肥料無しと肥料ありとを比べると、確実に肥料ありの方が食用のものを育てさせるには最適である

小松菜の栽培を通して分かったこと

最初は、『こんなに寒いのにちゃんと育つか』とか『やったことないからどこか間違えて育ててしまわないかな』とか思っていました。

でも、実際やってみるとやったことのない私でも、しっかり先生の話聞いていればうまく育つという事が分かりました。そして、野菜を育てるうえで、肥料はとても大切なものなのだという事が分かりました。考察でも書いたように、肥料無と肥料ありの違いは歴然で誰が見ても肥料ありの方が収穫のとき、新鮮でおいしそうだと思うと思います。

小松菜の栽培は、思ったよりも簡単で誰でも簡単にできると思います。もし、私も機会があればまた家などで栽培してみたいです。小松菜のおかかマヨもとってもおいしかったです。